

データの取り扱いに関する説明文書

研究課題名：リハビリテーション養成校における医療 ICT 教育カリキュラムの作成と効果検証

【要旨】

- ・ 本課題で用いるデータは、「医療情報科学演習 II」「リハビリテーション工学演習」の講義内で回答をいただいた授業アンケートならびに医療 ICT に関するアンケート調査です。
- ・ データは研究目的以外に使用しません。具体的には、学会発表や論文執筆の際の統計的分析にのみ使用します。このとき、個人情報（氏名や学籍番号など）は全て意味のない数字や文字列により匿名化した状態で管理し、学会発表や論文投稿など対外的に公開する場合は、個人を特定できる情報はすべて削除して発表します。
- ・ 本データを用いる範囲は、「2. 本課題の実施体制（共同研究者等）」に記載の通りです。
- ・ 情報の管理に関する責任者は、本課題の研究代表者である、函館市医師会看護・リハビリテーション学院 医療教育研究課 教員 古館裕大です。
- ・ 本課題において、対象者は**研究用途でのデータの利用を拒否・撤回する権利**を持ちます。具体的には、以下のメールアドレスにメールをいただくことで、データの利用を停止します。この権利に期限はありません。
(本学院の学生) furudate@hma-reha.com
(学院外の対象者) furudate@hma-ns-reha.ac.jp

【本課題の詳細】

1. 本課題の目的

リハビリテーション（リハ）養成校において、医療 ICT 製品（例. リハロボット）の使い方や製品の基礎をなす技術を扱う工学教育カリキュラム（医療 ICT 教育）を開発することです。また、開発したカリキュラムにより学生の皆さんにどのような効果をもたらすかについて、以下の2点の調査により明らかにすることが目的です。

- ① 臨床応用を期待できる医療 ICT 製品の使い方を理解でき、その有用性や技術的な限界などを考察できるようになるのか
- ② 医療 ICT 製品の基礎をなすプログラミングや電気回路の考え方を理解できるのか

2. 本課題の実施体制（共同研究者等）

研究代表者：

函館市医師会看護・リハビリテーション学院 医療教育研究課 教員 古館裕大

共同研究者：

函館市医師会看護・リハビリテーション学院 作業療法学科 専任教員 千葉馨

函館工業高等専門学校 特命教授 浜克己

公立ほこだて未来大学 システム情報科学部 複雑系知能学科 教授 三上貞芳

3. 本課題の概要・背景及び医学・医療における意義

情報を遠くに飛ばして他者と共有する技術（ICT）は、リハビリロボットや遠隔見守り装置などにも組み込まれ、理学療法士や作業療法士にとっても身近な技術になっています。しかし、医療職の方々が装置の仕組みを学ぶ機会はないため、装置を上手く使いこなせず、人手不足などの大きな負担を抱えている現状にあります。これに対しては、教育の機会が十分に存在する学生のうちに、装置の基礎をなす仕組み（例. プログラミング、電気回路など）を知る機会を作ることによって解決できるのではないかと考えています。

そのような試みを行っている事例として、医療系大学での iPad を用いた講義[2]が存在しています。しかし、それらは教育手段としての製品の導入に終始してしまい、臨床で使える装置に関する内容は取り扱っていない問題があります。また、専門学校（養成校）に着目しても、装置に関する内容を扱う機会はありません。

以上より本課題では、次の 2 点に特化したリハ養成校学生のための工学教育カリキュラム（医療 ICT 教育）を開発します。

- ① 医療者の負担の低減を期待できる医療 ICT 製品の周知や使い方の解説
- ② 医療 ICT 製品を構成するプログラムや電気回路などの考え方を演習形式で学習

このように、工学の知見も有する医療者の育成を通して、最終的には超少子高齢化に伴う医療分野での働き手不足などの社会問題の解決に貢献したいと考えています。

4. 本課題の対象者

函館市医師会看護・リハビリテーション学院に所属し、「医療情報科学演習 II」「リハビリテーション工学演習」を受講した学生

5. データの取り扱いについて

本課題で用いるデータは、これまで皆さんに答えていただいた授業アンケート、ならびに医療 ICT 教育に関するアンケートです。個人情報保護に関する内容は「8. 個人情報の保護」、データの取り扱いに関する同意の自由については「9. データの取り扱いに関する同意の自由」をご覧ください。また、データの取り扱いを取りやめて欲しい場合は、本学に所属する学生の場合は furudate@hma-reha.com, それ以外の方は furudate@hma-ns-reha.ac.jp まで連絡をいただけますと受理いたします。

6. 本課題の資金源、起こり得る利害の衝突及び研究者等の関連組織との関わり

本研究は函館市医師会看護・リハビリテーション学院の助成を受けて実施されます。研究代表者および共同研究者に対して、個人的な資金等の提供や便宜は一切行われることなく、本研究課題は函館市医師会看護・リハビリテーション学院の研究グループによって公正に実施されます。また、この研究の成果により特許権等の知的財産権が生じる可能性があります。その権利は被験者には帰属しません。

7. 資料の保存と廃棄

得られたデータは、代表者ならびに共同研究者以外に参照できないように、セキュリティ対策ソフトを備えた専用の PC に保存します。PC 自体は鍵の掛かる部屋に 10 年間保管します。不要となった資料は裁断破棄し、PC からデータを完全に削除します。

8. 個人情報の保護

すべてのデータは研究目的以外に使用することなく、対象者の個人情報は外部に漏らすことはありません。本研究で得られた個人情報は、全て意味のない数字や文字列により匿名化します。また、データは統計的分析にのみ使用し、学会発表等で研究の成果を公開する場合、個人を特定できる情報はすべて削除して発表します。

9. データの取り扱いに関する同意の自由

データの取り扱いに関する同意は自由意志であり、同意しない場合でも決して対象者に不利益は生じません。同意しないことの意味表明は、対象者も含め、対象者の保護者からも可能です。同意をしないことによって、成績等の学業への影響や、学校生活に関わる不利益は一切ありません。

10. 本課題に関する問い合わせ先

本課題に関する問い合わせ先は以下の通りです。

所属：函館市医師会看護・リハビリテーション学院 医療教育研究課

職名：教員

氏名：古館裕大

連絡先：（TEL）0138-43-8282（FAX）0138-43-8283（email）furudate@hma-ns-reha.ac.jp

11. 対象者からのクレームの自由

本課題に関する何らかの疑問・問題が生じた場合は、いつでも問い合わせ・苦情を受け付け、速やかに対応します。クレームの申し出先は以下の通りです。

（申し出先）函館市医師会看護・リハビリテーション学院 生体医工学研究センター長 成田大一
〒040-0081 函館市田家町 5-16（TEL:0138-43-8282）